

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム らるご
日付	平成17年3月31日
	特定非営利活動法人
<b>評価機関名</b>	高齢者と痴呆の人のケアを大切にす会
	LIFE SUPPORT推進グループ
評価調査員	在宅介護経験11年
評価調査員	在宅介護経験8年
<b>自主評価結果を見る</b>	
<b>評価項目の内容を見る</b>	
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)</b>	

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>認知症の高齢者が皆んなと共同生活をしながら、自分の持っている能力でいつまでも生活出来るよう、そして助け合って生きていけるよう頑張っって貰いたいと念じながら、一人ひとりを大切にお世話しようと代表者、施設長、職員一同が心を一つにしている。</p> <p>代表者も本業の間を抜ってよくグループホームを訪れ、利用者や友達感覚、いや人生の先輩と接する態度で接している様子は利用者からも信頼されている。職員も利用者と一緒に話したり、何気なく一寸手助けをしたりして生活している様子は、楽しい家庭を目指していると感じる。</p>		

### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>平面的にも立体的にも、ゆったりとした感じのする室内であるが、その一つ一つの空間が生活にしっかりと機能していて無駄がない。利用者もその空間をうまく活用している。2つの居室の間にその2人の専用トイレがある。居室にはトイレはないけれど、自分達の専用のトイレが隣にある。居室の清潔感を保ちながら利便性もあるのかなぁと思える。</p> <p>リビングルームから台所はカウンター越しに独立しているが、そこに施設長や職員がいると、街角にある通い慣れたカフェレストランのキッチンをおぼせる。勿論利用者もその中で手伝っている。リビングルームに面したウッドデッキのテラスは広く、菜園や農園に面していて、春になるとここでの生活は楽しそうである。又畳敷きの部屋がリビングルームに隣接して、そこは娯楽の間である。煙草を吸う人は換気扇のついた小部屋にどうぞ。</p> <p>敷地も広いが周りが農園になっていて、気分的にまさに「らるご」となる。</p>		

### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>建築会社を営み、民生委員を長く務められ、自らの介護経験を基に高齢化社会の中で、高齢者が自立した生活が出来るような地域の環境整備をする必要性を訴え続けてこられ、6～7年前から地域密着型の介護施設の道としてグループホームを設立する構想を練り上げ、試行錯誤をしながら色々な所に働きかけた結果、ようやく3年前に具体化して、今のグループホームの設立となった。当時、異業種の営利法人がグループホームをつくり、認知症高齢者が安心して暮らせる生活の場を提供するという草分けの時代で、代表者としての熱意と、認知症高齢者に対する愛情がひしひしと伝わってくる。</p> <p>その意志を受け継いだ施設長や職員は、利用者が穏やかに自分の持っている能力を發揮して生活が出来るよう支援している。「らるご」とは音楽用語で「ゆったりとゆるやかに」という意味だそうで、この言葉に似合う雰囲気をつくっている。</p> <p>「今日は天気が良いね。ドライブに行きたい」の利用者の声に「よっしゃ、行こうか」と社長の運転で気軽にドライブに連れて行く。一休み後「散歩に行こう」「今日は風があるから暖か着込んで!!」男性利用者が先頭立って百間川の土手の下道を歩く。女性利用者も「頑張っって行くよ」と社長や施設長の手を引っ張って歩く。利用者も職員も一つの屋根の下で気さくに暮らしている家族である。</p> <p>特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした</p> <p>利用者の元気な顔、一番輝いていた頃、一番自慢していた頃等の写真や記念、思い出の物を持っていて、誕生日や行事の時にそれを見せながら皆んなで話をするような機会を作ってあげたらどうでしょうか。利用者の昔話の相手になってあげられるようなボランティアの人も居れば良いと思いますが、楽しいグループホームの生活の様子や話の中で面白いこと等を取り上げて、グループホームの“たより”を作って家族に送ってあげたり、家族の人に参加を呼びかけて家族との交流をもっと活発なものにして欲しい。</p>

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>男性2人が囲碁、将棋仲間。いつも二人で畳の間に対局している。勝ったり負けたりで碁石の交換をしながら過している。時には社長も参加するらしい。これは頭の体操には良いだろうなと思う。</p> <p>女性陣は「食材の下ごしらえ」「調理の手伝い」「片付け」「テーブルやカウンターの掃き掃除」「洗濯物の片付け」など家事を皆んなでする。食事が終わったら自分のお膳はキッチンカウンターまで運ぶという習慣ある。自分の出来る事は自分でする。</p> <p>廊下は玄関から裏口まで一直線で広くて長い廊下があり、ここは利用者の運動コースとなり「今日は何往復する？」と機能訓練にはうってつけである。</p> <p>利用者に応じた医師が往診もしてくれて健康管理をしてくれている。皆んな元気に楽しそうに話しながら動いている利用者が多いと思う。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>職員の要件は資格より「高齢者を大切に思う心持のある人」と代表者は言う。又「仕事ではあるけれど、自らこの仕事を大切に打ち込める人」将来に「介護は人間なり」である。その精神でグループホームを見守っており、施設長以下現場の職員もこの意を十分に汲み取って今日があると思う。</p> <p>地域との関わり方も大切にして色々な人々と接している。家族に対する思いもあり、これからも家族には益々協力を求めていくと思う。</p> <p>将来、地域密着のケアシステムを構築していこうとしている代表者ではあるが、このグループホームが中心となり、職員一家族一地域が更に一体となり弱い高齢者を助けしていく体制が根付いていくことを期待している。</p>		